「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2026 第四弾！を実施しました。

2026 年 10 月 15 日（木）18 時 00 分から「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2026　第四弾！を実施しました。

今回は、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室　飯田美穂先生をお招きし、『「診察室から社会へ」－ 女性の健康を支える産婦人科医・産業医・研究者というキャリア －』をテーマについてご講演いただきました。
当日は学部生 18 名、教職員 5 名の合計 23 名の参加がありました。

初めにご自身の経歴についてご説明いただきながら、産婦人科医、産業医、研究者、大学教員の４つのキャリアに至った経緯についてお話をしていただきました。
最後には学生時代からできることなどを挙げていただきながら、「学生のうちに色んな経験をしてみてください」と学生へメッセージをいただきました。

参加学生からは「産業医が会社でどういう役割を担っているのかがわかった。」「医療は人、地域をみるということを超えて、社会を見ることが求められているという新たな視点を持つことができた。」といった感想があり、本講演は盛況のうちに終了しました。





（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）